

トピック

ひずみ計測のための技術説明会と展示会盛況に開催

—主催（株）共和電業—

株式会社共和電業主催による“ひずみ計測のための技術説明会と展示会”が去る10月28、29日東京大手町の産業会館で、また11月4、5日大阪駅前の新阪急ビル12階スカイルームで実施された。

本技術説明会は“ひずみゲージからデータ処理”にわたり、その趨勢や応用技術をテーマとして、開催されたもので、同時に関連製品の展示をも実施した。

技術説明会で実施した内容は、「最近のひずみゲージと特殊環境下でのひずみ測定」、「ひずみ測定器の趨勢と実践的使い方」、「データレコーダを用いたアナログデータ集録について」、「データ集録処理システムによる動的現象の集録処理」の4題であり、「最近のひずみゲージと特殊環境下でのひずみ測定」と「データ集録処理システムによる動的現象の集録処理」が大変を興味を持って聞かれた。これら4題については、順次本誌上に掲載する予定にしている。（「最近のひずみゲージと特殊環境下でのひずみ測定」については No. 224, Oct. 1976 に掲載済み）

主な展示製品は、プロテクタ付ひずみゲージ“コブラヘッド”（kCH-1A）、新しく開発された荷重変換器——高精度型 LCH-E 型、高温用 LC-FH 型、LT-FH 型、LU-EH 型、低温用 LC-FL 型、LT-FT 型、LU-EH 型、耐食型 LC-J 型一、デー

タ入力装置 DAAS-20 A、データ集録装置 DAAS-300 A、データ集録、処理装置 DAAS-500 A。カセット式データレコーダでは、高応答型 RTP-520 A、データ処理型 RTP-570 A、超長時間型 RTP-540 A などである。これら製品についても本誌上で順次御紹介する予定である。

